

福岡市立障がい児通園施設指定管理者選定・評価委員会 議事録

日 時：令和6年9月19日（木） 10:00～15:10（休憩 11:40～12:40）

会 場：アクロス福岡 606会議室

出席委員：松崎委員・石田委員・井上委員・吉川委員<sup>※1</sup>・升永委員

高尾委員・平山委員<sup>※2</sup>・竹井委員

※1 東部療育センターから出席

※2 西部療育センターから出席

事務局：こども発達支援課 米岡課長・岩崎係長・岩崎・工藤

傍 聴 人：非公開

<議 事>

【開始】	事務局	・挨拶
【事務連絡】	事務局	・出欠確認 ・資料確認 ・スケジュール説明 ・審査、評価方法説明
【採点方法】	事務局	・採点方法について、集計の結果、委員間で評価に大きな差が出ている項目があった場合、どのような点を評価した、または評価しなかったのか、評価のポイントを伺わせていただきます。伺ったご意見につきましては、審査講評として公表いたしますので、ご了承願います。 ・大きな差の定義ですが、5段階評価において、3段階以上の差がある場合に、評価のポイントを伺わせていただきますが、いかがでしょうか。
	各委員	意義なし
【会議の公開】	委員長	・本日の議事である指定管理者の選定は、提案者からのプレゼンテーション及び委員の意見交換を行うが、プレゼンテーションの内容に提案団体の障がい児療育に関するノウハウが含まれており、会議を公開することにより、当該団体の利益を害するおそれがあること、また、率直な意見交換や意思決定の中立性が損なわれるおそれがあることから、市情報公開条例の規定により非公開とする。

【南部療育センター】	
(提案者 入室)	
【プレゼン】	・提案者プレゼンテーション
【質疑応答】	
委員	職員の確保・配置について、採用予定と確保済みの割合はどのくらいか。採用予定が半分以上いるのか。
提案者	<p>現在、あゆみ学園にいる職員がある程度スライドするところと、あとは法人内での配置替え等を想定しているが、それでもやはり南部療育センターの規模を考えると、採用予定がどうしてもこの数字になっている。そのため今年度の2回目の職員募集を今まさにやっているところ。</p> <p>例年、非正規職員の募集を年明けに実施をするが、その時期もできるだけ早めて確保に取り組んでいきたい。</p>
委員	その採用で職員が集まらなければ、考えていたような活動が難しくなるということはないのか。
提案者	そうならないように努めていく。
委員	特定を配置するとの記載があるが、特定とはどういう立場の方か。
提案者	いわゆる1年単位で雇用をする非正規職員のこと。福岡市でいうと会計年度任用職員のようなポジション。
委員	コーディネーターの配置を増やすとのことだが、役割などをもう少し具体的に教えてほしい。
提案者	現在、あゆみ学園にコーディネーターを1名配置しており、主に相談支援専門員という役割。最初の入り口で保護者のニーズを確認してサービスの利用計画を立てる。そのサービス利用計画に基づいて支給決定を受けて、その後、児童発達支援事業所で児童発達支援の利用計画を立てるという形になっている。南部療育センターでは4名配置する。
委員	地域啓発公開講座や育児支援は今まであゆみ学園が行っていたのを引き継ぐ形なのか。
提案者	そうだ。児童発達支援センターの中核的な役割ということで、地域への啓発事業なども含まれていると思う。肢体不自由児への基本的な支援方法などを、地域の幼稚園や保育園の職員へ伝える公開講座や、診断前のお子さんのサロンのような集まりを保健福祉センターと実施するなど、これまであゆみ学園でしていた取組みを同じように継続していきたいと思っている。
委員	具体的にはどういう方がその業務をするのか。

【南部療育センター】	
提案者	地域支援担当主査の想定だが、いろいろなニーズがある。例えば公開講座であれば単発の研修会になるため、各訓練士や保育士が講師を務めるというような分担を考えている。
委員	地域支援担当の係ができていのは、児童発達支援事業所への後方支援の役割が結構あると思ったが、それだけではなく南部地域の子育て支援も、この主査1名、保育士1名が担うのか。
提案者	そうだ。今まで職員が分担して担っていたため、ばらばらな動きの部分も若干あったと思う。もちろん児童発達支援事業所への支援は大きな役割としてあるが、それ以外にももっと効果的に地域支援ができないかという発想で今回提案をしている。
(提案者 退室)	
【意見交換・採点】	
委員	南部療育センターは新たに開設するため、一番の課題は人の確保がどのくらいできるかということだと思う。
委員	肢体不自由を専門としてきたあゆみ学園から、ほかの療育センターと同じような業務範囲になるが、あゆみ学園でのノウハウなどをどのように生かしていくかがあまり聞けなかったと思った。
委員	例えば、在宅重症心身障がい児への支援などは割とあゆみ学園が丁寧にやっていた事業をそのまま事業内容に入れておられるのかなと私は受け止めた。
【集計・結果報告】	
事務局	・委員の平均点数は100点満点中、79点。

【西部療育センター】	
(提案者 入室)	
【プレゼン】	・提案者プレゼンテーション
【質疑応答】	
委員	内定保留児というのは、診断を受けて児童発達支援センターに通うことがいいということになったが、センターには通えなかった方という意味か。
提案者	そうだ。
委員	それは、基本的には定員の問題なのか。
提案者	定員の問題もあるし、途中で転居して来られるというのも

【西部療育センター】	
	理由の一つとして上げられると思う。
委員	定員は市との関係などで決まっているのだから、記載されているとおり幼稚園・保育園とかでもできそうな子は移ってもらって枠を広げるか、定員を超過した数を受け入れるかしか解消のしようがないのか。
提案者	そうだ。
委員	収支予算書の人件費について、現在確保している職員数は58名、新規採用予定者数が13名、合計71名ということで予算化されていると思うが、計算してみると4,000万円ぐらい不足するようだ。令和5年度決算の職員俸給を現在の職員数58名で割って1名当たりの人件費を出し、令和7年度配置予定の71名を掛けると、収支予算書の金額には全く足りない。もう一度、収支予算書の見直しをされてはどうか。
提案者	現在、西部療育センターに配置されている職員の令和7年度の昇給等を踏まえた見込額と、本当は正規職員を配置したいが実際は非正規職員を配置しているところを踏まえて、平均単価を出して積算をしているため、ある程度、現実的な積算をしている。
委員	職員配置図の正規職員と非正規職員の関係だが、令和6年度と比べると大幅に正規職員が増えている。ということは俸給もそれなりに増えないとおかしいのではという単純な考え。給料を下げるということであればこの予算になるかもしれないが、計算するとかなり不足しているかなということで、もう一度見直されたらどうかということ。
委員	南部療育センターが設置されることと、肢体不自由の4歳児単独通園が始まることをどのように受け止めて、事業計画などにどのように反映されているのかをもう少し教えてほしい。
提案者	相談診断については、南部療育センターができることで待機の問題が少し解消されると考えている。 あとは、肢体不自由の4歳児単独通園が始まることで、職員体制をきちんと整備し送迎の問題等も、これから確認をして予定を立てていかないといけないと思っている。
委員	4歳児の単独通園が開始するということで来年度の保育士が3名増えるようだが、部屋などはどうなるのか。
提案者	通園人数によって配置を考え、適正で安全に受入れができ

【西部療育センター】	
	るような部屋の調整を今から考えていこうと思っている。
委員	令和7年度の児童発達支援の予定数が令和6年度より減っている根拠は。南部療育センターに移る部分があるからか。
提案者	平均増加率で計算をしているため、実際は必ずしもこのとおりではないかもしれないが、南部療育センターの開設に伴いエリアが少し変わるところも見込んでこの数が出ている。
委員	職員数は来年増えることになっているから、その分療育やその他の事業を手厚くできるということになるのだろうか。
委員	来年度から、エリアに関係なく通いたい施設を選んで通園できると伺ったが、これは今在園しているところから転園したいという方も受入れする予定なのか。
事務局	選択制を取るのは令和7年度からになるため、基本的には令和7年度に新規で申込みをされる方がそのような方法で利用調整を行う。在園児は、基本的にはそのままの施設に通っていただく。
委員	先ほど、児童発達支援事業所への後方支援のところで事業者によって差があるため研修等を行うと言われたが、児童発達支援事業所がどんな状況なのかもう少し具体的に教えてほしい。
提案者	事業所によっては、なかなか忙しくて時間が取れず、こちらから幾つか候補日を上げたりしたが、去年は実施できていないところもある。 センターが行っている研修を受けてもらったり、何日間かの実習受入れ等で支援をしていきたいと考えている。
委員	診断待機が2か月とあるが、ほかの施設は1.5か月とある。西部療育センターの待機が少し長いのは、診察のニーズが多いからか。
提案者	診察のニーズはとても多いと思う。今のところ1か月半ぐらいで維持するようにしている。
委員	令和7年度からは診断・相談エリアが少し減るので何とかなるというところか。
提案者	そうだ。努力していく。
(提案者 退室)	
【意見交換・採点】	なし
【集計・結果報告】 事務局	・委員の平均点数は100点満点中、75点。

【東部療育センター】	
(提案者 入室)	
【プレゼン】	・提案者プレゼンテーション
【質疑応答】	
委員	小児科医及び児童精神科医による診察と書いてあり、この診断機能はとても期待されていると思うが、センター長以外の小児科医や児童精神科医がどのように配置されているのかは、資料のどこで確認をしたらいいのか。
提案者	資料中に医師の配置人数は載せていない。センター長は小児科医師が常勤で配置されているが、非常勤でいろいろな病院に協力を依頼して来ていただいている医師の正確な人数までは資料には記載していない。
委員	現在も非常勤の精神科医の方は来ていらっしゃるが資料には記載されていないということか。
提案者	そうだ。週1回、九大の児童精神科の先生に来ていただいている。そのほか、九大の小児科の先生に週1回、小児整形外科の先生に半日ずつ、月2回来ていただいている。
委員	<p>地域支援にも力を入れるということだが、児童発達支援事業所への支援は、どのような方がどのような頻度で行かれるのか。</p> <p>また、支援で関わっている保育園の園長先生から、さぼーと保育が受けられるようになったお子さんがいたためセンターに電話をしたら、個人情報だから話ができない返答で、センターにどう関わってもらえるのかが分からないまま途切れてしまったと聞いている。</p> <p>もちろん個人情報の保護は重要なので、そのまま話すことができないというのは確かだが、園長先生がセンターと繋がれない印象を持ってしまったのは残念に思う。</p> <p>本来ならば連携機能があると思うので、そうした保育園とセンターがどのような形で繋がれるのかという、地域との連携の在り方のオリエンテーションが、どのように今なされているのかを詳しく聞きたい。</p>
提案者	まず、さぼーと保育をはじめとした保育園との関わりについて、恐らく対応した職員は紋切り型に保護者の合意がないと話ができないと伝えたわけではないのではと思いつつも、園長先生にそういう印象を抱かせてしまったのは課題だと

【東部療育センター】	
	<p>思う。</p> <p>さぽーとと保育に関しては、非常に協力的に受け入れてくださっていて、地域で子供を育ててくださるということに対して療育センターとしては非常に感謝している。どういうふうに関わるか戸惑われることも多いかと思う。</p> <p>福岡市の所管課でオリエンテーションという形で、このように療育センターと関わりましょうとか、保護者の心の琴線に触れるような聞き方はどうしたらいいかなどという、具体的な対応例とかも示していたように記憶している。</p> <p>また、昨年度から幼稚園も含む保育施設から療育センターに紹介するにあたって、気をつけたらいいことや、こういう視点で子供をアセスメントした上で保護者と話し合い、聞きたいことについて保護者に同意を得て、このように療育センターに投げかけたらいいですよというようなシステムが出来つつある。そのようなシステムを、当たり前に見えるようにもう少し頑張らなければいけない。</p> <p>地域との繋がり方について、地域生活支援協議会というのが福岡市にはあり、区の部会で各福祉委員の提供機関と繋がってはいるが、心を開かないご家庭にどう繋がっていくかということが話題になっている。放っておいてというのもサインというところで、園長先生も含めて待ちながら少しずつ進めるということを協議しながらやっている。</p> <p>児童発達支援事業所への後方支援について、新しく開所した事業所への支援頻度は必要に応じてではあるが、全国的に事業所を開所しているところもあれば、初めて開所されるところもあるため、それぞれのニーズに合わせて訪問等を行っていきたいと思っている。研修に関しても、全体的に行うテーマと事業所のニーズに応じたテーマで行っていきたいと思っている。</p>
委員	<p>児童発達支援事業所について、規模が大きいところはスピーチセラピストなども揃えているが、地域に根差し、利用者にとってアクセスのよいところに、新しく開設したいと思っている小規模な事業所の人員配置計画では、思うようにそういった専門職の人材を揃えられず、困っているという印象が強い。地域支援のセンター的機能を担う療育センターが、事業所のバックアップとして、そうしたニーズに対応し、専門職を派遣する際の配分を考えていただけるとよいと思う。</p>

【東部療育センター】	
委員	<p>児童発達支援事業所への支援をするために地域支援担当の係をつくられていると思うが、主査1名と保育士1名で、具体的にどのくらいの回数の支援が可能なのか。</p> <p>また、作業療法士や理学療法士などのニーズにはどのように対応するのか。</p>
提案者	<p>主査と保育士以外に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士も療育センターにはいるため、そちらのニーズがあった場合は、専門職が支援を行っていきたいと考えている。</p> <p>回数についても、現場の業務との兼ね合いもあるため、可能な範囲でさせていただければと思っている。</p>
委員	<p>係が増えたことで、可能な範囲がどのくらい広がったのか。</p>
提案者	<p>地域支援担当主査が増えることで足を運べる機会が1名分増えるので、これまでより回数は増えると思うが、専門職は今やっている業務プラスになるため、何回行けるというのが今は言えない。ただ、本当にニーズがあるなら、そこは体制を強化していかねばならないと思っている。</p>
委員	<p>予算を作成する場合には、まず独立採算がとれているかということを考えていただければと思う。拠点区分間繰入金収入と拠点区分間繰入金支出を除いて予算書を見ると赤字予算になっている。</p> <p>実際、この予算どおりに実行できるということは全くないとは思いますが、予算が経営の指針のため、きちんと採算が取れるような予算をつかって執行していくということが大事ではないかなと思っている。</p> <p>あと、危機管理体制について、センター長から次長へという流れになっているが、センター長からスタートすることは、問題が起こったときにはまずセンター長に情報が行かなければいけないが、センター長へどう連絡するかが分からないとその下へもいけない。そこはもう一度検討されたほうがいいと思う。ほかの施設はきちんとした表をつくられているため、それを参考にして検討されたらどうか。</p>
(提案者 退室)	
【意見交換・採点】	
委員	<p>児童精神科や小児科の非常勤の先生については、資料に書いてないと言われていたが、ほかのセンターも同じか。</p>
事務局	<p>そうだ。おそらく資料には、正規職員でも非正規職員でも</p>

【東部療育センター】	
	8時間とかある程度勤務される常勤の方を書かれている。
委員	現在通っている施設に私はすごく満足しており、どの施設も同じ社会福祉事業団が運営をされているので、きちんとサポートしてくれているのだろうと思いながら聞いている。
委員	方針がきちんと現場や子供たちに反映されているかなど、保護者でないと分からないところがある。
委員	ピンポイントの感想になるが、給食参観が定期的にあるのだが、そのときに職員の配置が昨年度と比べてすごく手薄だったため、子供が、前年度の個別支援の課題で食べ物の詰め込みとあったにも関わらず、詰め込んでいた。ガラス越しで何も言えない状況で、ほかの保護者も飲物を飲みたいのに気づいてもらえないと言われていたため、次の日の家庭訪問でその状況を相談員に話したら、もう翌週から臨時の保育士がプラス2名ぐらい入ってくれて、次の給食参観のときには改善されていた。園長からもじきじきに電話いただき、もう1回クラスで個別支援計画を見直して事故防止に努めていくとのことだった。なので、そのことに関しては昨年度と比べて最初はすごく不安があったが、すぐフィードバックされて満足している。プレゼンテーションの中であったが、給食の時間も大事に考えているという方針は合っているのかなと思った。
委員	気がついたことを言えることと、言ったらきちんとそれなりの対応が返ってくる、そこは大事なところだ。
【集計・結果報告】 事務局	・委員の平均点数は100点満点中、72点。

【めばえ学園】	
(提案者 入室)	
【プレゼン】	・提案者プレゼンテーション
【質疑応答】 委員	めばえ学園は小規模ではあるが、地域に根差した丁寧な指導をされている印象がある。今回の人員配置計画をみると、職員は現在の体制のままで、児童指導員や看護師は非正規職員であり、保育士が中心の療育となっている。心身障がい福祉センターからスピーチセラピスト等の派遣による指導があるということだが、具体的にはどれくらいの頻度でそうい

【めばえ学園】	
	<p>った支援が受けられているのか知りたい。回数がそれほど多くなければ、一般の児童発達支援事業所と同じような職員体制という印象。もちろんこれまでの実績により蓄積された療育の質は異なると思うが、それはどのような形でどれくらい還元されているのか、規模的には事業所と変わらない印象。事業所よりはセンターとの連携が取りやすく、専門的な知識・技術も多く提供されていると思うが、それがどのような方法でどの程度なのかを教えて欲しい。</p>
提案者	<p>通園児への支援が主になるが、例えば言語聴覚士だと親子通園に大体年間6回、単独通園に年間12回。</p> <p>内容的には、親子通園は2歳児になると言語のコミュニケーション評価と、保護者へのコミュニケーションの相談に応じ、子供さんの状態をクラス担任にも伝えてもらう。その後、クラス職員が助言を受けた内容を取り組んで丁寧に支援をしている。また、保護者向け学習会を各クラス年1回。摂食に課題を持つ児童がいるため、食事場面を見て摂食の際の支援の助言もしてもらっている。</p> <p>単独通園も同じように、1対1での言語のコミュニケーション評価と保護者への相談支援。それをカンファレンスで担任に伝えてもらい、それをもとに担任がクラスの中でコミュニケーションをするという取組みをしている。学習会は年2回で、そこでも保護者の質問に応じている。</p>
委員	<p>グループや療育場面を客観的に見ながら、その在り方について指導するというのが中心か。1対1でのスピーチセラピストの指導などはないのか。</p>
提案者	<p>そうだ。家庭への助言が主。繰り返し支援をすることで、コミュニケーションが実際の場面で使えるようになったりするため、セラピストが直接支援するというよりは、受けた助言をもとに保育士や児童指導員が日常生活や遊びの中で環境設定しながらいかに取り組むか。そこが保育士や児童指導員の専門性だなと思っている。</p>
委員	<p>児童発達支援事業所などに支援に行かれるときには、かなりの専門性を事業所も期待していると思うが、これまでどういった支援・助言をされてきたのか具体的に教えてほしい。</p>
提案者	<p>児童発達支援事業所での支援場面を見て、こういう場面であんなに見て分かる支援をしたらいいのではないかという環境調整や視覚支援。支援中の困っている状況を伺って、こ</p>

【めばえ学園】	
	<p>ういうふうに関わったらいいのではないかという助言をしている。</p> <p>めばえ学園は言語聴覚士などの専門職はいないため、事業所からそのようなご要望があれば、心身障がい福祉センターと連携して、言語聴覚士に来てもらうなどができたらいいと思っている。</p>
委員	<p>児童発達支援事業所への後方支援について、定期的に関催される定例会に必要なに応じて参加とあるが、この定例会はどこが開催するのか。</p>
提案者	<p>心身障がい福祉センター・西部療育センター・東部療育センターの主には相談係長が担当している。児童発達支援事業所の管理者などに参加していただき、現状の把握、課題があるか、困り感がどこかというのをそこで出してもらい、それにに応じて支援に行くというような形。</p>
委員	<p>医療的ケア、医療的配慮の子供さんのところについて、常勤の看護師を配置して受け入れ、通園療育の充実を図るとあるが、職員の配置計画を見ると看護師は現在、非正規職員が2名で、来年度以降も同様の計画になっているがどうか。</p>
提案者	<p>今いる看護師が特定業務任用職員での採用になっており、正規職員ではない。そのため非正規職員のほうに数が上がっている。</p>
委員	<p>ここに記載されている常勤の看護師というのは、非正規職員だが勤務時間数は常勤ぐらい来ているということか。</p>
提案者	<p>そうだ。今いる2名のうち1名はフルタイムで8時45分から17時の勤務、もう1名は30時間勤務。在籍児童の医療的ケアの状況によって看護師の配置を考えているところ。</p>
委員	<p>親子通園の保護者が園外に出てリフレッシュや交流する機会としてわくわくタイムを設定するとあり、こういうのは保護者にとっては、すごく貴重な時間になっているのではと思う。保護者からも、こういうリフレッシュの時間があるといいという意見が出てきたため実施しているのか。</p>
提案者	<p>もともとめばえ学園は他施設と少し違うフォローの仕方をしており、2歳児になると年間何回か、その日は親子通園ではなくて児童だけを療育するということをしていた。しかし今は幼稚園や保育園と併用されている方も多いため、親子通園の療育の機会を大切にしたいと考えて、わくわくタイム</p>

【めばえ学園】	
	の日も午前中までは保護者も一緒に療育に入っただき、お昼ご飯の時間帯から園外に出て食事を取ったり買物をしたりするリフレッシュの時間を取っている。
委員	組織形態のところ、通園のところに保育士の行が2つある理由はなにか。
提案者	療育後の15時から18時までの一時預かり事業に対応する職員として、2名ほど採用して選任という形で配置する予定。
(提案者 退室)	
【意見交換・採点】	
委員	リトミックとかすごく多くあるからいい。私の子供も親子通園のときからリトミックを経験させてもらっていて、すごく子供が大好きで、今でもリトミックがある日はるんるんで行くぐらい。先生たちも相談にすごく乗ってくれるし、子供一人一人に違う療育をきちんとしてくれているので、本当に安心して預けられる状態。
委員	リトミックは音楽療法士がするのか。
委員	そうだ。
委員	単独通園で医療的ケア児も送迎可能というのは、てんかんの子なども看護師が添乗してバスに乗れているということか。
委員	そうだ。医療的ケアの酸素をつけている子などもバスに多分乗っている。医療的ケアの子がいるときは添乗する先生の人数を増やしているとか、看護師が添乗していると思う。
事務局	以前から医療的ケアが必要なお子さんであったとしても、集団でバスに乗れる方や、送迎の時間帯に医療的ケアが発生しないお子さんは送迎バスに乗っていただいていた。更に、医療的ケアが常時必要なお子さんでも保護者に頼らずに送迎ができるように、看護師の添乗と車の手配をするようにしているところ。お子さんの状態もあるため、希望された方には送迎をするようにしている。
委員	医療的ケアが必要なお子さんは、ほかの施設でも受け入れているのか。
事務局	現在、民間の児童発達支援センターでは、医療的ケア児の受け入れはしておらず、市立施設で受け入れている。
委員	いい話も聞けてよかった。
【集計・結果報告】	

【めばえ学園】	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員の平均点数は 85 点満点中、64 点。</li> <li>「児童発達支援事業所への後方支援」について、委員の評価に 2 段階以上の差が生じている。評価のポイントを伺いたい。</li> </ul>
委員	今いる職員でできることを精いっぱいやっていると思うが、めばえ学園の職員だけでは、児童発達支援事業所へ行って、保育の観点を超えて発達支援に関する専門的知識・技術を十分に提案する支援力を期待するのは厳しいかなと判断した。
委員	療育センターはそこをもう少し頑張らなければいけないということで係をつくって職員を 2 名つけているが、めばえ学園はそれがなく、今の体制の中でやるという人員配置になっている。
委員	児童発達支援事業所に対しても、このように支援すると計画書に明記されているが、めばえ学園だけの力では難しいのではないかと。
事務局	おっしゃるように、めばえ学園には機能訓練士がいないため、心身障がい福祉センターとセットでないと、めばえ学園単体ではなかなか後方支援が提供できないだろうということで、実習の受入れなどはめばえ学園で行うが、言語聴覚士などの派遣は、心身障がい福祉センターとめばえ学園が一緒に行くという形を考えている。
委員	<p>高く評価されている方は、いまの体制の中で結構頑張っているところからでしょうか。</p> <p>心身障がい福祉センターは知的障がい児の単独通園がないため、そういう意味ではめばえ学園と心身障がい福祉センターはセットで行うことでほかの療育センターとある程度同じような役割を果たしていると考えるのはどうか。</p>
委員	ただ、セットでの評価ではなく、ここではめばえ学園の評価。現在はスピーチセラピストが年間 6 回～12 回来て全体に対してアドバイスを行っていくという印象。できれば心身障がい福祉センターに通う方たちのように個別支援も受けられるように、めばえ学園でもスピーチセラピストなどの配置がもともとあるべきと考えた。その上でめばえ学園から児童発達支援事業所の支援にも行けるという発想でこういう評価をした。今の保育士だけでよいという人員配置の考え方から見直してもらいたいという思いがある。

【めばえ学園】	
	<p>児童発達支援事業所の中でも、全国規模で展開しているような事業所はスピーチセラピストがいて、個別の時間を取って療育をしているところもあった。そういう必要性、ニーズはどの事業所にもあると思う。</p>

【心身障がい福祉センター】	
(提案者 入室)	
【プレゼン】	・提案者プレゼンテーション
<p>【質疑応答】</p> <p style="text-align: right;">委員</p>	<p>心身障がい福祉センターは、福岡市全体のまとめとして本当に多岐にわたる仕事で、きめ細やかで、この計画も伺ってすごいと思っているところ。</p> <p>地域支援について、私が少し関わった保育園でやっとさぼーと保育に繋がった方がいて、どんなふうに関わったらいいいのかセンターに電話をしたら、個人情報だからここでは話せないという返答があり、園としてはセンターと繋がれるのか見通しが持てなかったという印象が強く、私はそれはすごく残念だと思った。もちろん個人情報保護は大切なので、保護者にこんなところを聞きたいなどの了解を得て、書面で渡すことも一つの手かもしれないという話をしたが、そういった予備知識がない園が多いと思う。</p> <p>今後の見通しとして、そういう相談に行った保護者、あるいはさぼーと保育が決定した園に対して、センターとどんな形で繋がれるのか、そのときにはどんな手順を踏めばいいのか、どんな協力ができるのかということについて、明確な枠組みみたいなものを伝えてもらえると、イメージが湧きやすいと思う。今もしかしてそれはできているのかもしれないが、そこの保育園ではピンときていなかったなので、その辺りの状況を教えてほしい。</p>
提案者	<p>せっかく繋がる場があったところをうまく生かせなかったのは我々の反省だと思う。おっしゃるように個人情報というところはあるが、そこに関しては保護者に了解をいただければ当然連携は取れると私たちも思っている。</p> <p>例えば初診で来られたときに園と連携を取っていいかということでしたら了解をもらった場合には、その日のうちなどに園と連携を取って電話でやり取りをしたりしている。後々、園</p>

【心身障がい福祉センター】	
	<p>からコンタクトを取りたいということであれば、園を通じて保護者に了解をもらうこともあるが、こちらから保護者に了解を取った上で電話でのやり取りは既に行っている。</p> <p>ただ、指摘いただいたように、全ての園がそのシステムを理解されているわけではないということも改めて感じたので、全ての園が参加する特別支援保育の研修などの機会に改めて周知を図っていくのも我々の役目かなと思う。</p>
委員	<p>収支予算書の職員給与手当に70名と記載されているが79名の間違いか。</p>
提案者	<p>福祉局からの指定管理料とこども未来局からの指定管理料と分かれており、こども未来局分の職員70名をこちらに記載している。</p>
委員	<p>サービス区分が多いため、こども未来局分のサービス区分を教えてほしい。</p>
提案者	<p>事業活動明細の相談・医療型・知的・難聴の4サービス区分が児童部門の予算に関するところ。</p>
委員	<p>事業計画の児童発達支援について、ほかの施設は内定保留児の解消に向けた記載があったが、心身障がい福祉センターには記載がない。内定保留児はいないということか。</p>
提案者	<p>心身障がい福祉センターは知的障がい児の単独通園の機能を持っていないため、内定保留児は現在いない。</p>
委員	<p>児童発達支援事業者への後方支援について、事業所数はどんどん増えているが、心身障がい福祉センターが担当をする事業所数はどのくらいか。</p>
提案者	<p>今年度までは東西の療育センターと一緒に全エリアをカバーするというようなイメージも一方では持ちつつ、3センターである程度役割を分担しているが、来年度以降はかなり線を引ながら対応することになっていくと想定している。今年度、各区に1か所ないし2か所ずつ事業所が増えているため、心身障がい福祉センター所管の施設も4か所ないし5か所は今年度中に増えるのかなと思っており、来年度、再来年度も基本的には同じくらいずつ増えていくのではないかと想定の下で準備を進めている。</p>
委員	<p>そうすると各事業所に実際にはどのくらいの間隔で訪問したりすることが可能なのか。</p>
提案者	<p>今年度いっぱいはいまいるメンバーで相談係を中心にやっていくが、今後は幼稚園・保育園への訪問支援と、児童発達</p>

【心身障がい福祉センター】	
	支援事業所への後方支援を担う地域支援の部署を中心にやっていたらと思っているため、現在よりも手厚くサポートできるのではないかと想定している。
委員	具体的にはどのくらいの間隔・回数で支援するのかということ、言語聴覚士などの専門職による支援も結構ニーズとしてあると思うが、そこについてはどう考えているか。
提案者	<p>新たな部署の立ち上げを想定はしているが、そのメンバーだとやはり特定の職種になってしまう可能性があるため、当センターの強みである作業療法士・理学療法士・言語聴覚士も含めたいろんな職種での対応が必要になってくると思っている。</p> <p>現在も児童発達支援センターに対して言語聴覚士や作業療法士を派遣しながら施設支援という取組みを行っているため、それに準じた形でのサポートも含めて今後は検討が必要かなと思っている。</p>
（提案者 退室）	
【意見交換・採点】 委員	さきほどのめばえ学園への専門職の配置なども含めて、心身障がい福祉センターにももう少し期待したい。
【集計・結果報告】 事務局	・委員の平均点数は100点満点中、76点。

【審査・評価結果報告】 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南部療育センターは、100点満点中79点。</li> <li>・西部療育センターは、100点満点中75点。</li> <li>・東部療育センターは、100点満点中72点。</li> <li>・めばえ学園は、85点満点中64点。</li> <li>・心身障がい福祉センターは、100点満点中76点。</li> </ul>
委員	東部療育センターは採算を取れるような予算化をしてほしい。
委員	児童発達支援事業所への後方支援や一時預かりなど、これからの5年間でいろいろと課題になってくると思うが、また一つ新しい段階でもあるため、ぜひ専門職の充実などもやっていただけるとありがたいと思う。
【終了】 事務局	・挨拶